

パワポ計207頁の「横浜市のIRに係る調査報告書」の出力に優に1時間かかり、途中でインクもなくなり泣きそうになった。新規採用時、説明は必ず「A4で1枚」で行うように叩き込まれた。しかし最近ではパワポによるプレゼンが社会で大手を振り辟易している。

「A4で1枚」で説明資料を作る利点は何か。第1に説明を行う者も受ける者も俯瞰できること、第2に俯瞰できることにより時間泥棒をなくし労働生産性の向上に寄与できること、第3に紙とインクの無駄を省くこと、第4にデータ容量の無駄を省きサーバーの負担を低減すること、第5に通信回線に負荷をかけずテレワークでもサクサク仕事ができることが挙げられる。パワポによる利点はプレゼンができた気になり仕事ができる感が味わえること位だろうか。中身がないパワポははっきり言って無駄以外の何物でもない。社会人入学した大学院で仕方なくパワポを使ったがその気持ちは変わらず、もうマイクロソフト社の陰謀だとしか思えなかった。

SDGsの観点からも、紙やインクやサーバーや通信回線の無駄を省くこと、労働生産性の向上は急務である。先進諸国の中で最低である日本の労働生産性の向上を妨げるものはホワイトカラーによるものだ。コロナ禍でテレワークが推奨される中、はんこも見直されようとしている。パワポも同時にやめませんか。